

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 山之口 美喜生 (ヤマノクチ ミキオ)

(2)職 名 : 学長 教授

(3)学 位 : 修士(医療福祉管理学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担当科目 : リハビリテーション医学・理学療法管理経営学・医療情報学他

(6)研究テーマ

- ①小児・周産期2次医療圏データベースをもとにした小児医療の供給分析について
- ②温熱刺激療法による知覚感受性と運動機能の変化について
- ③義肢装具の運動力学的解析について

(7)所属学会・団体

- ①日本理学療法士協会

(8)研究業績等

- ①著書 『小児・周産期2次医療圏データ(タックン)Ver1.0.3』 (共著) (株)ウェルネス
2012年6月(以後年次更新)
- ②著書 『小児・周産期2次医療圏サマリーデータ(作万理さん)Ver1.0.1』 (共著)
(株)ウェルネス 2012年6月
- ③論文 「ストレスフリー療法がアレルギー性鼻炎の自覚症状に与える効果」 (共著)
『了徳寺大学研究紀要』 第12号 2018年3月

2024年度用 教員の情報公表内容

- (1)氏 名 : 盆子原 秀三 (ボンコハラ シュウゾウ)
- (2)職 名 : 教授 理学療法学科長
- (3)学 位 : 博士(保健医療学) 学士(教養)
- (4)資 格 : 理学療法士
- (5)担当科目 : 運動学Ⅰ 人間関係実践演習Ⅲ 臨床運動学実習 応用運動療法学 理学療法治療学演習 理学療法特講Ⅱ 早期臨床体験見学実習(1年次) 見学実習(3年次) 評価実習(3年次) 臨床教育実習Ⅱ前期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)
- (6)研究テーマ
- ① 観察による歩行分析の熟練度について
 - ② 混合研究法による行動観察
 - ③ 老年期の理学療法
- (7)所属学会・団体
- ① 日本理学療法士協会
 - ② 臨床歩行分析研究会
 - ③ 国際混合研究学会(MMIRA)日本混合研究法学会
 - ④ 足立区パラスポーツ推進委員
- (8)研究業績等
- ① 著書『印象から始める歩行分析』(共著) 医学書院 2018年11月
 - ② 著書『筋学ハンドブック』(共著) 医歯薬出版 2014年6月
著書『関節学ハンドブック』(共著) 医歯薬出版 2019年12月
 - ③ 訳書『観察による歩行分析』(共訳) 医学書院 2005年6月

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 加藤 宗規 (カトウ ムネノリ)

(2)職 名 : 教授 理学療法学科副学科長

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 運動学実習 理学療法カウンセリング 神経診断学
神経障害理学療法学演習 理学療法特講Ⅱ
理学療法研究法特論 卒業課題研究 見学実習
評価実習 総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ① 筋力測定
- ② 脳卒中片麻痺
- ③ 応用行動分析学

(7)所属学会・団体

- ① 理学療法科学学会
- ② 日本臨床スポーツ医学会
- ③ 日本行動分析学会

(8)研究業績等

- ① 論文 『Test-retest reliability of isometric ankle plantar flexion strength measurement performed by a hand-held dynamometer considering fixation: Examination of young healthy participants』(単著) Journal of Physical Therapy Science 2022年
- ② 著書 『基礎理学療法学概論』(分担)メジカルビュー社 2024年
- ③ 著書 『最新理学療法学講座 理学療法評価学』(分担)医歯薬出版株式会社 2023年

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 武内 朗 (タケウチ アキラ)

(2)職 名 : 教授 学生部長・学術情報センター長

(3)学 位 : 修士(健康デザイン学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法評価学Ⅰ 理学療法学概論 基礎運動療法学実習 理学療法特講Ⅱ
神経系障害理学療法学実習 日常生活活動学実習 見学実習 評価実習
総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ①成人片麻痺患者のヘルスプロモーション
- ②加齢と姿勢保持のための運動

(7)所属学会・団体

- ①理学療法学会
- ②日本ヘルスプロモーション学会
- ③日本リハビリテーション連携学会

(8)研究業績等

- ①著書『理学療法士 ポケット・レビュー帳 基礎編』(共著) メジカルビュー社 2009年8月
- ②著書『理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー帳 基礎編』(共著) メジカルビュー社
2009年9月
- ③著書『PT スタートガイド 基礎理学療法概論』(共著) メジカルビュー社 2018年2月
- ④著書 改訂第2版『PT スタートガイド 基礎理学療法概論』(共著) メジカルビュー社 2024
年1月

2024 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 中 村 浩 (ナカムラ ヒロシ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 運動学Ⅱ、応用運動療法学、理学療法治療学演習、理学療法特講Ⅰ、内部障害理学療法学実習、理学療法特講Ⅱ、生活環境学、医学論文(英文)、見学実習、評価実習、臨床総合実習

(6)研究テーマ

- ① 下肢アライメントが姿勢、歩行に及ぼす影響(足部形態、体幹動揺の評価)
- ② 地域高齢者の健康増進および介護予防を目的とした理学療法の介入
- ③ ストレスと自律神経(呼吸および心拍変動)の関係

(7)所属学会・団体

- ① 理学療法士協会
- ② 靴医学学会
- ③ 理学療法科学学会

(8)研究業績等

- ① 論文 Relationship between the medial longitudinal arch movement and the pattern of rearfoot motion during stance phase of walking. *J.Phys. Ther.Sci.*15: 2002 年 11 月
- ② 論文「スマートフォンアプリケーションを使用した関節可動域測定の信頼性と妥当性の検討ー画面の大きさ(スマートフォン, タブレット端末)の違いによる比較ー」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』第 13号: 2019 年 3 月
- ③ 論文「健常若年成人男性におけるチルトテーブルを用いた部分荷重スクワットの生理学的応答」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』第 14 号: 2020 年 3 月

2024 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 山田 洋一 (ヤマダ ヨウイチ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士 介護支援専門員
公認身体障害者スポーツ指導員 福祉住環境コーディネーター2 級

(5)担 当 科 目 : 整形外科系障害理学療法学, 発達障害理学療法学総論 人間発達学
運動学実習 日常生活活動学実習 理学療法評価学Ⅱ、理学療法特講Ⅱ、
見学実習, 評価実習, 総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ① 理学療法教育・管理
- ② 理学療法スキル(視線特性)
- ③ シミュレーション教育(VR, メタバースの可能性)

(7)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会
- ③ 日本ボバース研究会
- ④ 日本シミュレーション医療教育学会

(8)研究業績等

- ① 論文「理学療法士の自己認識から抽出した今後の育成課題」(共著)『理学療法科学』
27(4).385-389 2012 年 9 月
- ② 論文「理学療法評価における視覚的分析能力の調査」(単著)『国際医療福祉大学大学
院博士論文』2014 年 3 月
- ③ 論文「脳血管障害片麻痺者疑似体験用装具の開発と歩行再現性について」(共著)『リハ
ビリテーション教育研究』25.116-117 2019 年 3 月

2024 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 上岡 尚代 (カミオカ ナオヨ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 修士(スポーツ健康科学)

(4)資 格 : 理学療法士、高等学校・中学校保健体育教員免許
公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
公益財団法人健康体力づくり事業財団公認健康運動指導士
非営利活動法人日本トレーニング指導者公認上級トレーニング指導者

(5)担 当 科 目 : 検査測定と評価 検査測定と評価演習
アスレティックトレーナーの役割 対象別スポーツ指導論
健康運動指導実習 I 整形外科系障害理学療法学
スポーツ理論と実習 I(理学) スポーツ理論と実習 II(理学)
予防とコンディショニング スポーツ障害理学療法学演習
スポーツトレーニング特論 トレーナー実習 I(見学実習)
トレーナー実習 II(スポーツ現場実習) トレーナー実習 III(検査・測定と評価実習/
アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習)
トレーナー実習 IV(アスレティックリハビリテーション実習)
トレーナー実習 V(総合実習)

(6)研究テーマ

- ① 地域高齢者に対する運動介入について
- ② 大学生のライフスタイルと健康
- ③ スポーツ選手に対する低出力レーザーを用いたコンディショニング

(7)所属学会・団体

- ① 日本レーザー治療学会
- ② 日本臨床スポーツ医学会
- ③ 日本体育・スポーツ・健康学会

(8)研究業績等

- ① 著書『健康運動指導士試験 要点整理と実践問題』第1版(共著) 文光堂 2018年2月
著書『健康運動指導士試験 要点整理と実践問題』第2版(共著) 文光堂 2019年8月
著書『健康運動指導士試験 要点整理と実践問題』第3版(共著) 文光堂 2020年9月
著書『公益財団法人日本スポーツ協会アスレティックトレーナー専門テキスト第5巻6章』2022年11月
- ② 論文「フェンシング選手のコンディショニングに対する 10W 半導体レーザーの効果」日本レーザー治療学会誌, 20(2) 42-47, 2022.
- ③ トレーナー業績
2018 第18回アジア競技大会フェンシング日本代表チーム帯同
2019 世界選手権大会フェンシング日本代表チーム帯同
2021 東京オリンピック」フェンシング日本代表チーム帯同

2024 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 荒巻 英文 (アラマキ ヒデフミ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 修士(リハビリテーション学)

(4)資 格 : 理学療法士(登録)

(5)担 当 科 目 : 物理療法学総論(実習を含む) 地域リハビリテーション理学療法学
機能能力診断学実習 理学療法評価学 I 理学療法特講 II
整形外科系障害理学療法学実習 整形外科系障害理学療法学演習
理学療法学概論 見学実習 評価実習 総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ① 骨格筋に関する研究
- ② 筋力測定に関する研究
- ③ 超音波診断に関する研究

(7)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本基礎理学療法学会
- ③ 日本予防理学療法学会
- ④ 理学療法科学学会

(8)研究業績等

- ① 著書 『筋肉研究最前線ー代謝メカニズム、栄養、老化・疾病予防、科学的トレーニング法ー』
(共著) エヌ・ティー・エス 2019 年 9 月
- ② 論文 「ヒト骨格筋の反復伸張における筋肥大及び筋力増強効果の検証」 (共著)
理学療法科学学会 『理学療法科学』第 30 巻 2 号 2015 年 4 月
2015 年度 理学療法科学 優秀論文賞
- ③ 論文 Validity and reliability of isometric muscle strength measurements of hip abduction and
abduction with external hip rotation in a bent-hip position using a handheld dynamometer with
a belt (共著) *J. Phys. Ther. Sci.* 28(7) 2016 年 7 月

2024 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 平野 正広 (ヒラノ マサヒロ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 博士(保健医療学)、修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 内部障害理学療法学、内部障害理学療法学実習(喀痰・吸引含む)、整形外科系理学療法学実習、機能能力診断学実習、運動学実習、リハビリテーション概論(栄養学、予防の基礎を含む)、人間関係実践演習 I (初年次教育)、理学療法学概論、理学療法特講 II、見学実習(通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション)、評価実習、総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ① 内部障害(主に呼吸)に関する研究
- ② 筋力に関する研究
- ③ 学生支援に関する研究

(7)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本臨床生理学会
- ③ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

(8)研究業績等

- ① 論文「最大口腔内圧法による呼吸筋力と身体機能との検討」(単著)国際医療福祉大学大学院博士論文 2018年3月
- ② 論文 Validity and reliability of isometric knee extension muscle strength measurements using a belt-stabilized hand-held dynamometer: A comparison with the measurement using an isokinetic dynamometer in a sitting posture(共著) *J. Phys. Ther. Sci.* 32(2) 2020年2月
- ③ 論文「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行下における理学療法学科新入大学生への対応と精神的健康度の経時的変化」(共著)リハビリテーション教育研究 第28号 2022年7月

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 一色 員子 (イッシキ カズコ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 地域リハビリテーション概論 理学療法特講Ⅰ 理学療法特講Ⅱ 運動学実習
日常生活活動学 理学療法評価学Ⅰ 基礎運動療法学実習
見学実習(通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション) 評価実習
総合臨床実習(実習前後の評価を含む)

(6)研究テーマ

- ①変形性股関節症の理学療法
- ②CTを用いた筋断面積の評価について
- ③神経解剖学

(7)所属学会・団体

- ①社団法人日本理学療法士協会
- ②理学療法科学学会
- ③日本股関節学会

(8)研究業績等

- ①論文 "Asymmetry of the cross-sectional area of the gluteus medius muscle persists eight years after total hip arthroplasty for osteoarthritis of the hip" (筆頭共著)
Progress in Rehabilitation Medicine 2021年12月
- ②論文 「片側下肢術後の動作障害に対する理学療法アプローチ」(共著) メディカルプレス
『理学療法』2010年1月
- ③著書 シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ『人間発達学テキスト』(共著) 南江堂
2014年6月

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 兎澤 良輔 (トザワ リョウスケ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法評価学Ⅱ(画像評価を含む)、整形外科系障害理学療法学演習、基礎運動療法学実習、日常生活活動学実習、運動学Ⅱ, 物理療法学総論(実習を含む), 理学療法特講Ⅱ、見学実習、評価実習、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)

(6)研究テーマ

- ① 理学療法評価に関する研究
- ② 障害予防に関する研究
- ③ 運動療法に関する研究

(7)所属学会・団体

- ① 日本運動器理学療法学会
- ② 日本基礎理学療法学会
- ③ 日本膝関節学会

(8)研究業績等

- ① 著書『PT 臨床評価ガイド』(共著) 医学書院 2022年1月
- ② 論文 Reliability of ultrasound to measure the distance between lumbar interspinous processes. (共著) *Medical Engineering & Physics* 99 2022年1月
- ③ 論文 Possible role of MRI-detected osteophytes as a predictive biomarker for development of osteoarthritis of the knee: A study using data from the Osteoarthritis Initiative (共著) *Osteoarthritis and Cartilage Open* 3(4) 2021年12月

2024年度用 教員の情報公表内容

- (1)氏 名 : 荒井 沙織 (アライ サオリ)
- (2)職 名 : 講師
- (3)学 位 : 博士(保健医療学)
- (4)資 格 : 理学療法士
認定理学療法士(脳卒中)
- (5)担 当 科 目 : リハビリテーション医学(整)、神経系障害理学療法学、神経系障害理学療法学
実習、日常生活活動学実習、機能能力診断学実習、理学療法特講Ⅱ、内部障
害理学療法学実習、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床教育実習Ⅱ後期(4
年次)、総合実習、見学実習、評価実習
- (6)研究テーマ
- ① 脳卒中片麻痺・高次脳機能障害に関する研究
 - ② 動作手順の学習・記憶に関する研究
 - ③ 応用行動分析学に関する研究
- (7)所属学会・団体
- ① 日本理学療法士協会
 - ② 理学療法科学学会
 - ③ 行動リハビリテーション研究会
 - ④ 一般社団法人日本高次脳機能障害学会
 - ⑤ 日本物理療法学会
- (8)研究業績等
- ① 論文「一定時間で徐々に情報を減らしていく記憶方法の検討」(筆頭共著)『理学療法科
学』37巻5号 2022年9月
 - ② 論文「Effects of different visual presentation methods on movement procedure learning」(筆
頭共著) Journal of Physical Therapy Science, Vol.34 No.12 2022年12月
 - ③ 論文「従来の保存療法に抵抗性を認めた肩関節周囲炎患者に対する拡散型圧力波治療の
即時的効果」(共著)『物理療法科学』2023年8月
 - ④ 著書「改訂第2版 PT スタートガイド 基礎理学療法概論」(分担) メジカルビュー社 2023年

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 澤 広太 (サワ コウタ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(理学療法学)

(4)資 格 : 理学療法士
専門理学療法士(神経)
認定理学療法士(脳卒中)
認定理学療法士(補装具)

(5)担 当 科 目 : 義肢装具学実習(主担当)
義肢装具学(主担当)
神経系理学療法学実習(分担)
理学療法特講Ⅰ(分担)
理学療法特講Ⅱ(分担)
物理療法学総論(分担)
理学療法学概論(分担)
人間関係実践演習Ⅲ(分担)
見学実習(分担)
評価実習(分担)
総合臨床実習(分担)

(6)研究テーマ

- ① 脳卒中
- ② バランス(姿勢制御)
- ③ 垂直認知・高次脳機能
- ④ ニューロリハビリテーション

(7)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本神経理学療法学会
- ③ 高次脳機能学会
- ④ 日本支援工学理学療法学会

(8)研究業績等

- ① Sawa, K., Amimoto, K., Ishigami, K., Miyamoto, T., Setoyama, C., Suzuki, R., Kuwabara, N., Tamura, M., Miyagami, M., & Fukata, K.: Immediate effects of lateral truncal tilt balance training with a wedge on subjective postural vertical and sitting balance in subacute phase patients after stroke. *International Journal of Therapy and Rehabilitation*, 31(3), 2024, <https://doi.org/10.12968/ijtr.2021.0147>
- ② Kota Sawa, Keisuke Ishigami, Takuya Miyamoto, Miko Tamura.: Effects of sitting balance training with a wedge on sitting pressure and verticality in young adults: A randomized crossover trial.

Medicine (Baltimore), 2023, Aug 4;102(31):e34625.

- ③ Sawa K, Amimoto K, Ishigami K, Miyamoto T, Chika Ishii, Rikuya Suzuki, Miko Tamura, Akira Morizane, Chikashi Komatsu, Mitsusuke Miyagami: Recovery process of vertical perception and activities of daily living in stroke patients: A retrospective cohort study. *Brain and Behavior*, 2023, 13(5), DOI: 10.1002/brb3.3001
- ④ Sawa K, Amimoto K, Ishigami K, Miyamoto T, Setoyama C, Suzuki R, Kuwabara N, Tamura M, Miyagami M.: Efficacy of Lateral Tilt Training on Postural Vertical and Activities of Daily Living after Stroke: A Randomized Crossover Trial. *NeuroRehabilitation*, 2022;51(1):33-40. doi: 10.3233/NRE-210255.
- ⑤ Sawa K, Amimoto K, Meidian AC, Ishigami K, Miyamoto T, Setoyama C, Suzuki R, Tamura M, Miyagami M.: Efficacy of Sitting Balance Training with Delayed Visual Feedback among Stroke Patients: A Randomized Crossover Clinical Trial. *Journal of Physical Therapy Science*, 2022, 34(8):540-546. doi: 10.1589/jpts.34.540.

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 石井 成美 (イシイ ナルミ)

(2)職 名 : 助教

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 運動学Ⅱ、理学療法評価学Ⅱ(画像評価を含む)
解剖学実習[理]、生理学実習[理]
基礎理学療法学、整形外科系障害理学療法学演習、理学療法特講Ⅱ
見学実習、評価実習、総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ① 理学療法評価に関する研究
- ② 運動器障害に関する研究
- ③ 障害予防に関する研究

(7)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 整形外科リハビリテーション学会
- ③ 日本ダンス医科学研究会

(8)研究業績等

- ① 論文:「2種類スマートフォンアプリケーションを使用した角度測定における信頼性の検討」
(共著)『了徳寺大学研究紀要』第17回 2023年3月
- ② 論文:「The reliability and validity of joint range of motion measurement using zoom and a smartphone application. 」(共著)J Phys Ther Sci 2023.
- ③ 学会発表:第11回日本運動器理学療法学会
「ノギスとスマートフォンアプリケーションを用いた仙骨傾斜角度測定法の学生と理学療法士の信頼性の検討」2023年10月

2024年度用 教員の情報公表内容

- (1)氏 名 : 今村 創 (フリガナ:イマムラ ソウ)
- (2)職 名 : 助教
- (3)学 位 : 博士(医学)/修士(医科学)
- (4)資 格 : 理学療法士 / 呼吸認定理学療法士 / 3学会合同呼吸療法認定士 / 呼吸ケア指導士(初級)
- (5)担 当 科 目 : 内部障害理学療法学 / 内部障害理学療法学実習 (喀痰・吸引含む) / 整形外科系理学療法学実習 / 運動学実習 / 理学療法学概論 / 人間関係実践演習Ⅰ (初年次教育) / 理学療法特講Ⅱ / 見学実習 / 評価実習 / 総合臨床実習
- (6)研究テーマ
- ① 呼吸リハビリテーションに関する研究
 - ② 呼吸困難に関する研究
 - ③ アプリケーションを用いた運動療法に関する研究
- (7)所属学会・団体
- ① 日本理学療法士協会
 - ② 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
 - ③ 日本呼吸器学会
- (8)研究業績等
- ① **【論文】**Impaired Dynamic Response of Oxygen Saturation During the 6-min Walk Test Is Associated With Mortality in Chronic Fibrosing Interstitial Pneumonia (共著).
Respir Care. 68(3): 356-365, 2023年5月.
 - ② **【論文】**Long-term efficacy of pulmonary rehabilitation with home-based or low frequent maintenance programs in patients with chronic obstructive pulmonary disease: a meta-analysis (共著).
Ann Palliat Med. 9(5): 2606-2615, 2020年9月.
 - ③ **【論文】**運動時低酸素血症のメカニズム(単著)
Respica 21(3): 88-83, 2023年3月

2024年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 酒井 実希 (フリガナ:サカイ ミキ)

(2)職 名 : 助教

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法学概論、理学療法特講Ⅰ、理学療法特講Ⅱ、発達障害理学療法学
総論、義士装具学実習、老年期障害理学療法学演習、総合臨床実習、見学実
習、評価実習

(6)研究テーマ

- ① 発達障害
- ② 応用行動分析学
- ③ 国際協力

(7)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ②
- ③

(8)研究業績等

- ① 論文「自閉スペクトラム症児に対する片足立ち練習の試み」(共著) 日本行動分析学会年次
大会発表論文集 40巻 2022年9月
- ② 論文「発達障害児に対する「相手に両手で下からボールを投げて渡す」運動獲得のための介
入効果についての検討」(共著) 行動リハビリテーション vol.12 2024年3月
- ③